

第42号

KIP会
ひろば

平成31年3月25日

題字：前田聖峰

◆KIP会賀詞交歓会 開催報告	1
◆活動予定 KEEP部会	
活動報告 いすゞ自動車藤沢工場見学会／ネットマーケティング研究会.....	2
◆活動報告 貿易繊維部会／生活産業部会・物産部会・食品部会 合同開催／	
テクノトランスファー in かわさき2019 ご案内	3
◆会員企業訪問記「おじゃまします」	
株式会社エース・E&L.....	4
◆やなぎに風.....	5
◆会員サービスのご案内.....	6

KIP会賀詞交歓会 開催報告 2月1日

去る2月1日(金)、平成31年KIP会賀詞交歓会を横浜ベイホテル東急クイーンズグランドボールルームにおいて開催しました。

第一部の記念講演では、『「2019年の行方を読み解く」～リーダーのインテリジェンス感覚を磨くために』をテーマに、外交ジャーナリスト・作家の手嶋龍一氏にご講演いただきました。目まぐるしく変化を続ける世界情勢について、さまざまな切り口から解説いただき、ご出席の皆さまも真剣に聴講されていました。



手嶋龍一氏



記念講演の様子

第二部の賀詞交歓会は、簗原KIP会副代表のあいさつに始まり、県知事、日本銀行横浜支店新見支店長に来賓の祝辞をいただきました。簗原副代表からは、国際情勢や日本経済を支える中小企業の意義について、県知事からは、神奈川県とベトナムの友好関係について、また新見支店長からは、2019年の景気動向について、お話がありました。その後、宮治KIP会副代表の乾杯の発声により、230名の皆さまによる盛大な交歓会が幕開けとなりました。和やか雰囲気の中、企業間の情報交換や近況について語り合うなど、大変活気も溢れていました。中締めは、高木KIP会副代表より、これからのKIP会が益々活気づくようにというお話をいただき、一本締で閉会しました。



簗原副代表のあいさつ



日本銀行 新見横浜支店長の祝辞



賀詞交歓会の様子

活動予定

KEEP部会

第95回 女性管理職・中堅社員交流会

KIP会では会員企業の女性を対象にした、「女性管理職・中堅社員交流会」を定期的に開催しています。

今回は、常に新しい挑戦をし続け、女性管理職のパイオニアとしての経験をもとに、次世代の女性リーダー達の育成と支援を続ける、(株)ハウスオブローゼ 教育アドバイザーリーフェロー 生越多恵子氏をお迎えし、お話を伺います。

また、働く女性の貴重な情報交換、他企業との交流の場として、グループディスカッションを開催します。ぜひご参加お待ちしております。



女性管理職・中堅社員交流会の様子

日時：4月10日(水) 14:00～17:00

会場：神奈川中小企業センタービル 6階大研修室

<内 容>

①講演：テーマ「Let's 考・動！」

講師 (株)ハウスオブローゼ

教育アドバイザーリーフェロー 生越多恵子(おごせ たえこ)氏

②ディスカッション：★テーマ調整中

活動報告

工場・施設見学会

いすゞ自動車 藤沢工場 見学会 (2月21日)

例年、大好評をいただいている工場・施設見学会ですが、今年度は主に商用車製造で日本を代表する「いすゞ自動車(株)藤沢工場」にて、28名の会員企業が参加し、実施しました。生産工程や組立などのラインの製造現場を見学し、大きなロボットが複数台同時進行で可動している現場の迫力に圧倒され、スケールの大きさを肌で感じました。また、見学終了後には参加者からの質問も活発に行われ、ものづくりに対する熱意が伝わってきました。

そして、同敷地内にある「いすゞプラザ」に移動し、トラックやエンジンの仕組み、これまでの歩みや歴史を見学し、見学会は終了となりました。



企業の概要説明の様子



参加者による集合写真

ネットマーケティング研究会

ネットマーケティング研究会 セミナーを開催 (2月25日)

KIP会ネットマーケティング研究会では「Google次世代進化の方向性と地域密着型アプリの活用事例」をテーマにセミナーを開催しました。第一部では、Googleの次世代進化の方向性と、それに連動したオンライン活用のノウハウを説明いただきました。また、第二部では、ネット活用事例として、フリーペーパーからポイントペーパーへと概念を進化させることで地域密着型ビジネス展開をしている取り組みをご紹介いただきました。続いて、セミナー講師を中心にパネルディスカッションを行ない、ビジネスでのGoogleの上手な活用法について、意見交換をおこないました。参加者から、試行錯誤しながらビジネスに取り組んでいる話に、皆さん共感しており、満足度の高いセミナーとなりました。



パネルディスカッションの様子

活動報告

貿易繊維部会

貿易実務研修会を開催（1月22日）

貿易繊維部会では、今年度もKIP国際課と共催で貿易実務研修を開催しました。

当日は、快晴の中20名の方が参加され、山九株式会社の大黒埠頭の梱包工場、保税倉庫、コンテナバンニング（コンテナに荷物を詰込む作業）・ドレー作業（コンテナを牽引して移動）、横浜税関大黒埠頭出張所を見学しました。その後、本牧埠頭に移動して、輸出入港湾関係の座学とCFS（コンテナヤードの中にある混載貨物専用の倉庫）、コンテナターミナルの見学を行いました。コンテナ船の出航を間近に見ることもでき、参加者も積極的に質問するなど、実りの多い一日になりました。



コンテナバンニングの様子



コンテナ船出航の様子

生活産業部会・物産部会・食品部会 合同開催

「インバウンドビジネス戦略セミナー」を開催（3月6日）

KIP会では、訪日外国人観光客の中でも25%を占める中国人観光客に焦点をあて「インバウンドビジネス戦略セミナー」を開催いたしました。

前半は、訪日中国人観光客の実状やビジネスを成功するポイントは何かを、具体的事例等を用いて説明いただき、後半は、中国でのインフルエンサーマーケティングの傾向や日本での活用方法について解説いただきました。

参加者からは、中国側の視点による分析は大変興味深く、今後のビジネス活動に役立てたいと、感想をいただきました。



セミナーの様子

・開催時期＆会場が変更になります。

・川崎国際環境技術展と同時開催

KIPの事業紹介

「テクノトランスファー in かわさき2019」開催のご案内

今年の当見本市は「11月開催」で、大規模コンベンションの開催が可能な「カルッツかわさき」で開催します。また、相乗効果の高い川崎国際環境技術展と同時開催します。

【日時】 2019年11月13日(水)～11月15日(金)
10:00～17:00

【会場】 カルッツかわさき(小体育館)
(川崎市川崎区富士見1-1-4)

※出展については下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】

取引振興課 TEL: 045-633-5170 mail: info@tech-kawasaki.jp



前回の様子



株式会社エース・E & L

所在地 相模原市南区麻溝台6-9-9
TEL 042-740-8111
ホームページ <http://www.ace-el.co.jp/>
代表取締役 津田 博通

業務内容：高齢者向け製品の企画・開発・販売

当社の事業

当社は、1983年に設立した電子機器の開発・設計を営む(株)エースエンジニアリングの子会社です。2008年、リーマンショックの影響で先行き不透明のなか、オリジナル商品を製造したいと、集音器に着目しました。設計・開発を行なうなか、2016年に「ものづくり補助金」に採択されました。そして、同年当社を設立しました。

当社オリジナル商品の第一弾となる集音器「Choju」は、利用者個々の聴覚特性にフィットした性能を提供するため、自社開発のパーツや、さまざまな高技術を搭載し開発しました。

当製品は、県内の中小企業が開発した優れた工業技術・製品を表彰する「神奈川県工業技術開発大賞」や、優れた新製品の生産により新たな新分野の開拓を図る中小企業として認定される「相模原市トライアル発注認定制度」に選ばれるなど、技術力の高い製品で、皆さまに喜ばれる自信があります。しかし、「医療機器」と認定されている補聴器に対し、「電気製品」に分類される集音器は、どんなに機能がよい製品でも、「医療機器」という消費者イメージの安心感には一歩及ばず、もどかしさを感じています。また、老人施設への普及は、規制が厳しく時間がかかります。

製品は、人に選ばれ使っていただき、喜んでもらい、初めて価値がでます。周知や販売方法をどのように行っていくか、今一番の課題です。

人脈あってこそ

当社の親会社である(株)エースエンジニアリングは、今でこそ売上は好調ですが、リーマンショックの影響で売上が低迷した時代、客先は仕事が激減したことを理由にリストラを決行しました。その波及は当社にも及び、リストラを余儀なくされた時もありました。その後、売上復活のために、新規顧客開拓に力を注ぎ、何とか持ち返えることができたのは、全て今までの人脈のお陰と感謝しています。社会人となってから数社と転職を繰り返し、その時の仲間がいつも助けてくれます。人の繋がりは本当に大切ですね。

KIPが募集した大連日本商品展覧会に参加

10年以上前から大連にプリント基板の知り合いがいて、その関係もあり展覧会に参加し、集音器のPRと即売を行いました。中国人から大変好評で10台近く販売できましたが、キャッシュレスが主流である中国において、キャッ



代表取締役 津田 博通様

シュレス販売の準備が必須であることを痛感しました。また、代理店候補も数社決まり、中国での日本商品の関心の高さが伺うことができました。次回も是非参加したく思います。

海外展開の取組み

親会社は、マレーシアに設計部門の事業所を展開しています。1998年、テクニカルショウヨコハマにて当時の(社)神奈川県産業貿易振興協会(通称「神産貿」)主催の東南アジアの方々とのマッチング商談会に参加しました。さらに、神産貿からの誘いで、マレーシアにおいて開催の会合にも参加し、その後シンガポールの現地企業を訪問し、日本では目にしたことも無い設計設備や試作専門設備を視察し、大変な衝撃を受けました。そして、人件費の問題からシンガポールの会社設立は厳しいと判断し、隣の国マレーシアに事業展開を決めました。この先5年・10年を見据え、海外の実状を肌で感じながら取り入れていくことは、企業が生き残る戦略のひとつかと思います。

今後の夢

集音器「Choju」を広範囲に普及させ、困っている方々の生活を少しでも豊かにしていきたいと思っています。聴こえることが衰えると、会話の輪に入りにくくなり会話が減り、更に聴こえる力が衰え言葉を忘れてしまうという悪循環につながります。そのような方々の生活の不便を少しでも解消できればと思います。そして、集音器の次は、高齢者向けの筋トレ機を開発していきたいと思っています。いつまでも自力で歩行できる身体作りを実現するための、トレーニング器具です。

高齢の方々の日常生活を応援するために、日々奮闘していきたいです。



「Choju」 「新製品：Choju II」

寄稿

やなぎに風

有隣堂が新業態店 「脱・書店」の試みに注目

この空気感はなんだ。いつか、どこかで見たような小さな街の小さな市場。古いバリカンを飾った理髪店（床屋といったほうがふさわしいかも）や郷愁を誘う店構えのキオスクがたたずむ。アパレルショップ、眼鏡店、居酒屋なども並ぶが、どこもインテリアや品ぞろえにこだわり抜いている。

「東京ミッドタウン日比谷」の3階に開業した有隣堂（本社・横浜市中区）の新規店舗「ヒビヤ セントラルマーケット」が、約1年たった現在も話題になっている。創業110年の老舗書店の経営革新にとどまらず、低迷する書店業界の起死回生の決定打となる可能性を秘めているからだ。

この店舗は、有隣堂とクリエイティブディレクター南貴之氏の共同作品として誕生した。両者の仲立ちをしたのが、家主の三井不動産である。有隣堂は以前から藤沢や平塚で「ブックカフェ」スタイルの店舗を展開してきたが、日比谷では「本以外の新しい商材」で「新しい文化」を発信することを目指している。

書店らしさがわずかに残るのは、雑貨エリアの周囲にしつらえた10本の書棚だけだ。そこには南氏らこのプロジェクトにかかわった10人の「選書」が並ぶが、雑貨の強い個性の陰に隠れ、本を手にする客はまばら。書店がつくった「本のない街」が、今後どうなるか興味は尽きない。

有隣堂の挑戦は、さらに続く。三井不動産を介して、台湾の書籍、文具・雑貨販売業「誠品生活」とライセンス契約を締結。三井不動産が東京・日本橋室町に今秋グランドオープンする「コレド室町テラス」のメインテナ

ント「誠品生活日本橋」を運営するのだ。

誠品生活は1989年、台湾・台北市で創業。「本と暮らしの間に」をコンセプトに、進出地域の特色や文化を生かした店づくりに取り組み、台湾、香港、蘇州などに46店舗を展開している。吹きガラスの窯を常設するなど、体験型イベントに力を入れていることでも有名。

日本初進出となる誠品生活日本橋は「書籍」「文具・雑貨」「セレクト物販・ワークショップ」「レストラン・食物販」の4ゾーンで構成。書籍ゾーンには、台湾茶を楽しめるティーサロン、ワークショップゾーンには吹きガラスの窯、食物販ゾーンにはキッチンスタジオも設けられる。

有隣堂は「創造的で新しいライフスタイルを発信するプラットフォーム」として一日の長がある誠品生活のライセンスとなることで、「脱・書店」の新たなノウハウを獲得。「ヒビヤ セントラル マーケット」で始めた試みをさらに発展させ、生き残り策につなげようとしている。

有隣堂の前身の「第四有隣堂」は1909（明治42）年、横浜・伊勢佐木町で創業。横浜大空襲による店舗焼失、敗戦による接収などを経て、1956（昭和31）年に現在の有隣堂ビル（本店）が完成。大理石張りで、エレベーターを備えた国内初の本格的専門店ビルは、当時は「文化の殿堂」として注目された。

地元商店街では、有隣堂ビルの建て替えを期待する声が聞かれる。横浜中華街が近いので台湾発祥の誠品生活との「相性」も悪くないはず、などと勝手に想像を膨らます人も少なくない。「脱・書店」の試みを東京で成功させ、その成果を発祥の地に持ち帰ってほしいものである。

（経済ジャーナリスト・松本 努）



個性的な理髪店やアパレルショップなどとひっそり「同居」する選書の書棚＝有隣堂の新規店舗「ヒビヤ セントラル マーケット」



横浜・伊勢佐木町にある有隣堂ビル。完成当時は「文化の殿堂」として注目された

KIP会会員は
通常料金から
20%Off

中小企業センタービルの会議室を利用しませんか！

中小企業センタービルには5つの会議室と多目的ホールを設けています。KIP会会員の皆さまには利用料の割引がございますので、会議、研修・セミナー、展示会などにぜひご活用ください。

<KIP会会員料金表>

(平日料金)

	定員	KIP会会員・利用料
第1会議室	39名	10,886円～ 38,447円
第2会議室	93名	23,328円～ 82,425円
第3会議室	36名	9,936円～ 35,164円
特別会議室A	24名	12,182円～ 43,199円
特別会議室B	22名	8,985円～ 31,794円
多目的ホール		
会議・講習会	120名	27,302円～ 96,594円
展示会・パーティ等	220名	48,211円～ 170,293円

利用時間帯

午前 9:00～12:00

午後 13:00～17:00

夜間 18:00～21:00

午前・午後／午後・夜間／
終日のご利用もお受けして
おります。



◆お問い合わせ・ご予約

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP） 総務課 会議室担当

TEL 045-633-5019

※ホームページもご覧ください http://www.kipc.or.jp/rental_mtg_room/

KIP会ひろばを活用してあなたの会社をPRしませんか？！

チラシ同封サービス

KIP会会員のビジネス拡大をお手伝いするため、「KIP会ひろば」を送付する際に貴社の製品・商品PRなどのチラシを同封するサービスを行っております。

- ◆チラシサイズ：A4
- ◆送付部数：600部程度
- ◆利用料金：5,400円（税込）



投稿募集

無料

会員の皆さまからのご投稿を大募集！
どのようなテーマでも結構です。
お問い合わせお待ちしております。

わが社の自慢
新製品紹介
事業紹介
などなど



◆お問い合わせ

取引振興課 KIP会事務局

TEL 045-633-5149

あなたの会社のイベントやサービスを会員向けにご案内します！

無料

セミナーやイベントの開催、展示会へのご出展、新製品、新サービスなどをメール&FAXで会員向けにPRします。ぜひお問い合わせください。

公益財団法人神奈川産業振興センター

事業部 取引振興課 KIP会事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F TEL:045-633-5149 FAX:045-633-5068

MAIL:kippmember@kipc.or.jp ホームページ:http://www.kipc.or.jp/about_kip/kipkai/